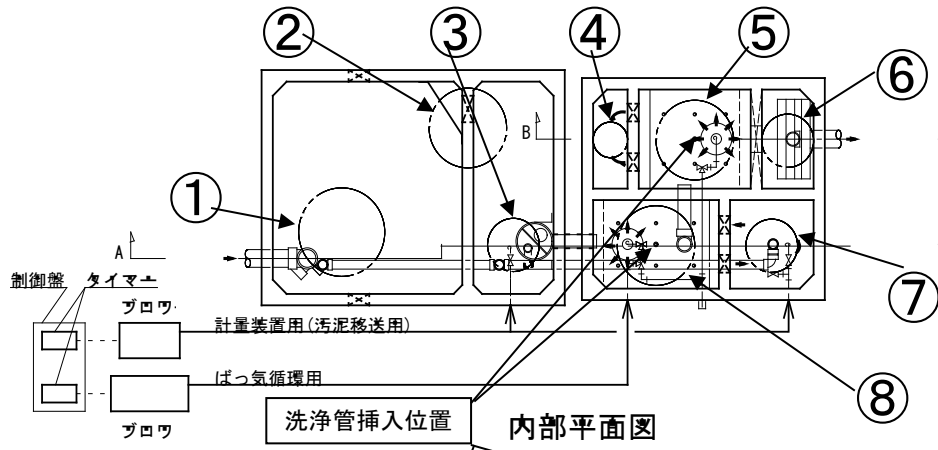
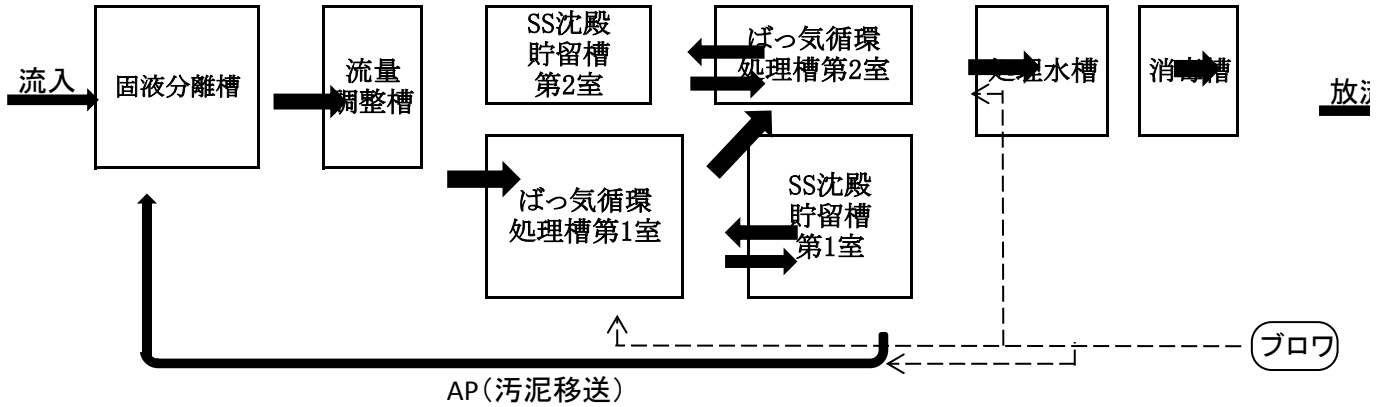


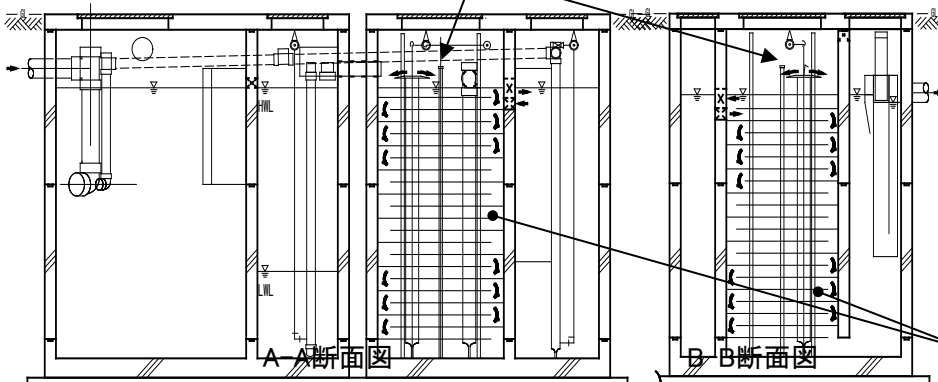
YS-20 (株)ヤマト
 OEM: なし
 共同開発: なし
 処理方式: 固液分離回分接触ばっ気方式
 5・7・10人槽

BOD除去型

全浄協登録値		
BOD	SS	T-N
20mg/L以下	—	—
性能評定または性能評価値		
BOD	SS	T-N
20mg/L以下	—	—



- ① 固液分離槽流入部
- ② 固液分離槽移流部
- ③ 流量調整槽計量装置
- ④ SS沈殿貯留槽第2室
- ⑤ ばっ気循環処理槽第2室
- ⑥ 消毒槽
- ⑦ SS沈殿貯留槽第1室
- ⑧ ばっ気循環処理槽第1室
- ⑨ ばっ気循環処理槽接触



有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	固液分離槽	1.836	2.356	3.350
	流量調整槽	0.500	0.701	1.000
	ばっ気循環処理槽 第1室	0.506	0.701	1.000
	ばっ気循環処理槽 第2室	0.495	0.699	1.015
	SS沈殿貯留槽 第1室	0.335	0.406	0.572
	SS沈殿貯留槽 第2室	0.147	0.240	0.335
	処理水槽	0.220	0.295	0.375
	消毒槽	0.050	0.060	0.085
	合計	4.039	5.398	7.660

流量調整機能	流量調整バルブ	流量調整高さ調整つまみ	ばっ気循環エアリフトポンプ	分配弁(%)		散気バルブ	汚泥移送用バルブ	空気逃がしバルブ
				第1室側	第2室側			
有	全開	有	有	60	40	全開	全閉	全閉

人槽	ブロウ風量(ℓ/分)	計量装置用(汚泥移送用)(ℓ/分)	ばっ気時間(時間)	静止時間(時間)	移送時間(時間)	作動回数(回)	作動周期	操作盤(タイマー)
5・7	100	30	5	1	2	3	1日	有
10	150	30						

人槽に対する移送水量・循環水量の設定範囲]

人槽		5・7・10		
基本タイマー設定時間	計量装置用(汚泥移送用)	0:00~1:45	8:00~9:45	16:00~17:45
	ばっ気循環用	2:00~7:00	10:00~15:00	18:00~23:00

特 徴

固液分離槽 流入水に含まれる大型の固形物、油脂等が、分離・貯留される。槽内の中間水はバッフル内に設けられた移流口を介して流量調整槽へ流出する。

流量調整槽 流出部にエアリフトポンプが設置され、槽内水を1日3回、タイマー制御にてばっ気循環処理槽第1室へ移送される。水位が変動する。

ばっ気循環処理槽 2室に区分され、直列に接続される。槽内には接触材が水平に多段設置されており、流量調整槽からの移流部から処理水槽への流出部まで一つの流路が形成される。流量調整槽からの回分流入と連動し、ばっ気・静止・沈殿・処理水槽への移送がタイマー制御される。汚泥管理を徹底するため、自吸式ポンプ・洗浄管等からなる洗浄装置が別置される。

SS沈殿貯留槽 ばっ気循環処理槽各室の槽内水が移送され、剥離汚泥を貯留する。第1室の蓄積汚泥は、槽内に設置された移送装置により固液分離槽へ移送する。

作業時のポイント

保守点検

- ①流量調整槽の水位からポンプの作動時刻・作動状況を確認し、計量装置を洗浄してください。
- ②ばっ気循環処理槽・第1, 第2室のばっ気・発泡・SSの状況を確認ください。(停止時間帯の場合は手動で作動させてください。) 生物膜の肥厚化(第1室において移流管内水位が目安棒より下になる等)の場合、洗浄装置を組み立て、吸い込み側をSS貯留槽・洗浄管をばっ気循環処理槽内に挿入して接触材の洗浄を行ってください。
- ③SS沈殿貯留槽のスカム、汚泥の蓄積状況を確認します。第1室は点検ごと、第2室は必要に応じて固液分離槽に汚泥を移送してください。加えてばっ気循環処理槽との移流口を洗浄してください。
- ④操作盤の各タイマーの現在時刻・稼働及び停止時刻を確認し、必要に応じて調整してください。

清掃

- ①SS・沈殿貯留槽のスカム及び汚泥は、あらかじめ固液分離槽に移送してください。
- ②固液分離槽は、全量引き抜いてください。流量調整槽は汚泥を主体に引き出してください。